

## 令和元年度第1回江別市青少年健全育成協議会会議録（要点筆記）

日 時：令和元年8月22日（木）午後2時00分～午後3時40分

場 所：江別市教育庁舎大会議室

出席者：10名

西出勉会長、伊藤穎毅副会長、河治昭委員、佐藤正勝委員、野尻一裕委員、  
松下泰祐委員、石山雅志氏（古川孝行委員の代理）、遠藤辰哉氏（原梢委員の代理）、  
高橋総恵氏（深津恵美委員の代理）、岩渕淑仁氏（三上真一郎委員の代理）

欠席者：2名

鎌田直子委員、深瀬禎一委員

傍聴者：なし

事務局：6名

萬教育部長、谷口学校教育支援室長、松井教育支援課長、天野生涯学習課長、  
布施青少年係長、伊藤教育支援課主査

次 第：1 開会

2 委嘱状交付

3 教育部長挨拶

4 委員紹介

5 会長選出

6 議題

(1) 平成30年度青少年健全育成活動報告書について

(2) 江別市の青少年健全育成関連施策について

(3) 江別市通学路安全プログラムに基づく合同点検の実施について

(4) 情報交換

7 その他

8 閉会

松井課長 本日は、お忙しいところ、ご出席いただきありがとうございます。  
江別市教育委員会学校教育支援室教育支援課長の松井でございます。  
どうぞよろしくお願いいたします。  
令和元年度第1回江別市青少年健全育成協議会を開会いたします。  
はじめに、委員の交代がございますので、新たに委員をお引き受けいただいた皆様に、委嘱状の交付を行います。  
萬教育部長から委嘱状を交付いたします。お名前を呼ばれた方は、その場にご起立願います。

<委嘱状交付>

なお、このほかに、新たに委員をお引き受けいただいた深瀬委員は、本日、ご都合により欠席されておりますので、後日、委嘱状をお渡しいたします。  
続きまして、萬教育部長から挨拶を申し上げます。

萬教育部長 <挨拶>

松井課長 ここで改めまして、委員の皆様を紹介いたします。

<委員紹介>

松井課長 続きまして、この場をお借りして、教育委員会の出席者及び事務局職員が自己紹介をいたします。

<事務局自己紹介>

松井課長 次に、次第5の会長選出でございますが、平成30年度末で会長の山谷委員が辞職されたことにより、現在、会長が不在となっておりますので、本日は、新たな会長の選出をいたします。  
江別市青少年健全育成協議会条例第5条第2項において、会長及び副会長は委員の互選により定めることとなっておりますが、どのようにしたらよろしいでしょうか。

野尻委員 事務局に何か案はありますか。

松井課長 委員から、事務局案ということで発言がございましたので申し上げます。  
会長は、学校教育に対する知識、見識の豊かな、北翔大学の西出勉委員にお願いしてはどうかと思っておりますがいかがでしょうか。

全委員 <異議なし>

松井課長 それでは、西出委員に会長をお願いしたいと思います。会長には、席を移動していただき、ご挨拶をいただきたいと思っております。

<西出会長 挨拶>

松井課長 ありがとうございます。ここからの司会進行は、西出会長をお願いしたいと思います。

西出会長 次第6 議題(1) 平成30年度少年健全育成活動報告書について、事務局か

西出会長	ら説明願います。
伊藤主査	<資料1に基づき説明>
西出会長	ありがとうございました。ただ今の説明に対し、質疑はございませんか。
佐藤委員	不登校児童生徒に対して、家庭では無理に登校させないで休ませなさいということをよく耳にするのですが、程度問題もあると思いますけれども、そのあたりのケアについては、どのような手加減で状況を判断するのか非常に難しいところだと思います。このあたりは、江別市としては、どんな見解をお持ちなのか、お聞かせいただきたいと思います。
松井課長	現在、文部科学省では、無理に学校に来させるような形ではなく、児童生徒一人ひとりに寄り添い、状況や心のあり方を考慮して、学校に行ける状況になってから行かせるという方向になってきております。また、保護者につきましても、子供の学校に行くエネルギーが少ない状況で無理に登校させても長続きせず、より長期の不登校になってしまう傾向があるので、学校もそうですが、一人ひとりの子供の状況に応じてきめ細かく対応するという状況になっております。不登校になっている子供については、学校でも定期的に家庭訪問や保護者と連絡を取り合うこと等による支援を行っておりますし、教育委員会としても、すぼっとケア等の事業を行っており、学校に行けない子供達に対して、学習支援や生活習慣の改善などに関する支援等を行っております。
西出会長	不登校の状況判断については非常に難しい面もあり、江別市ではどのような判断や取組等を行っているのかというご質問です。江別市教育委員会では、すぼっとケア等の事業を通して、当該児童生徒に寄り添いながら、再登校へ向けた心のエネルギーが充足し立ち直れそうだと判断できる状況を重視していること、また、その段階において保護者や関係諸機関とも連携を図りながら再登校に向けたきめ細かな支援を行っているという説明がありました。 他に質疑がないようでしたら、続きまして、議題(2)江別市の青少年健全育成関連施策について、事務局から説明願います。
伊藤主査、布施係長	<資料2に基づき、担当主査及び係長から説明>
西出会長	ありがとうございました。ただ今の説明に対し、質疑はございませんか。
松下委員	こんがり王国の会場を、今年度は森林キャンプ場からアースドリームに変更したとのことですが、来年度は森林キャンプ場で実施するのですか。
布施係長	例年、森林キャンプ場で実施しているこんがり王国の会場について、今年度、アースドリームに会場を移したことは、熊の出没に伴う特異的な対応でしたので、来年、熊の脅威が去った場合は、基本的には森林キャンプ場に会場を戻すということで検討していきたいと思っております。
西出会長	熊の出没については、学校関係者や教育委員会など、様々なところで細心の注意を払いながら情報収集に取り組まれたのではないかと思います。来年は、熊の出没等の危機管理上の問題がなければ、森林キャンプ場で実施する方向で検討するということでした。 続きまして、議題(3)江別市通学路安全プログラムに基づく合同点検の実

- 西出会長 施について、事務局から説明願います。
- 伊藤主査 <資料3に基づき説明>
- 西出会長 ありがとうございます。ただ今の説明に対し、質疑はございませんか。
- 佐藤委員 4ページ、文京台小学校の防犯27、防犯28については、自治会から市役所の所管部局に対し、数年前から、危険性が高いということで改善のお願いをしている経過があります。一番要望したいのは、木がすごく成長して街灯がぼんやりしか見えない状態が続いている部分ですが、一方、自然保護という観点から、それを良しとしない方々のご意見もあります。行政側から、横断的に、実態を適切に判断して、改善できるものがあるのではないかと、住民の立場からの率直な声があります。せっかく公園が整備されても活用の度合いが毎年減っていると思います。文京台南町公園は、実際には活用されていません。学生が夜中に、違った目的で活用する場面があります。それと、文教通りと呼ばれている交通安全27の箇所も、街頭や防犯灯が付いていても、ほとんど真下に行かないとその機能が発揮できないほど木の枝が伸びているということも実態としてありますので、なんとか改善していただきたいというのが地域の一貫したお願いとなっています。教育委員会だけの問題ではありませんが、是非、改善に向けたご努力をいただきたいと思います。
- 西出会長 現在、自治会等からの要望があることを事務局にも受け止めていただき、今後、可能な範囲で対応していただくということによろしいでしょうか。
- 佐藤委員 それぞれの部局で役割の違いはありますが、是非、青少年の健全な育成という立場で、側面から協力をいただければという期待があるので、お願いしたいと思います。
- 谷口室長 文京台小学校の通学路については、明日、合同点検を行う予定です。その点検にあたりまして、市道を所管する土木事務所の職員も同行することとなっておりますので、ただいまお話しいただきました声を伝えたいと思います。
- 西出会長 次に、議題(4)情報交換ですが、各委員が所属する団体における青少年健全育成に関する取組について、情報交換等をしていきたいと思います。  
それでは、江別市体育協会の石山様から順番にお願いします。  
なお、事前にご提出いただいた情報交換シートは、お配りしておりますので、併せてご覧ください。
- 石山氏  
(古川委員代理) 不登校について、体育協会の中でも、私が管轄するところしか分からないのですが、選手だったのに急に来なくなり、聞いてみると、学校に行っていないということがあります。お母さん方から何回も連絡を取って初めて分かるという状況です。体育協会に加盟している団体としてということもありますが、やはりお母さんとの緊密なやりとりが非常に大切なのではないかと思えます。私は、そういう子がいると最初にお母さんに電話をします。今、不登校の子が2名いて、片方の子は、お母さんとすぐに連絡が取れて大丈夫だったのですが、もう1名の子は、ずいぶん時間が経ってから、実は、という感じで不登校が判明しました。そうすると、ずっと何か月も休んでいるという状況ですので、さきほどもおっしゃったとおり、対応するのは早い方が良いですし、早いと早く出てきます。学校に行かなくても、練習に出てくると復帰が早いみたいです。私どもの管轄で、大学生の選手がいるのですが、こ

石山氏  
(古川委員代理)

の子はずっと小学校、中学校、高校と学校へ行っていない。ただ、うちのクラブには来てくれていました。現在は大学に入って成績も優秀ということもあり、早い手当て又は緊密なやりとりがその子を救うのだと思っています。その子は、日本連盟の強化選手になって優秀な成績を収めています。体育会から学校、それから社会に復帰するような早い流れ、早いやりとりが功を奏するのではないかというふうに私は思っています。

西出会長

ありがとうございました。保護者との連携と迅速な対応が重要であることをご指摘いただいたと思います。  
次に、河治委員からお願いします。

河治委員

保護司会としては、社会を明るくする運動が、7月から強化月間となっています。小中学生かるた大会や小学生相撲大会に、保護司会としても共催ということで、市等と一緒にやっています。小学生相撲大会は7月13日に行いましたが、今後の計画としましては、社会を明るくする運動の講演会を9月30日に予定しております。それから、小中学生かるた大会を12月15日に実施する予定となっております。えべつスノーフェスティバルも共催ということで活動しております。それから、保護司会独自で、社会を明るくする運動の作文コンテストを実施します。内容的には、江別市の全中学生を対象として作文を募集しており、9月5日締め切りという日程となっておりますが、毎年、5校くらいから作品を出品していただいています。主催は札幌市内の団体で、札幌管内の全中学生を対象として、毎年、約2,000作品の応募があり、その中から優秀賞、最優秀賞として20件から30件が選ばれますが、江別市からもこの数年、優秀賞や最優秀賞に選ばれているという実績があります。保護司会としては、犯罪や非行をなくすという更生保護の中の地域社会の安全、安心ということを踏まえて色々と活動しているという実態です。

西出会長

ありがとうございました。様々な取組がされているということでご紹介いただきました。  
続きまして、佐藤委員からお願いします。佐藤委員からは事前に情報交換シートをいただいておりますので、ご覧いただきながらご紹介いただければと思います。

佐藤委員

江別市民生委員児童委員連絡協議会は、法定とされていない任意団体ですが、この市民児協としての活動と、法定団体である各地区単位の民生委員児童委員連絡協議会という二つの部門での活動の使い分けがされています。市民児協としては、青少年をとりまく環境や状況について、常に把握しておかなければならないという学習の場と位置付けており、研修や学習会に参加出席をしております。行政の窓口としては、健康福祉部の子育て支援課や管理課となっております。具体的には、去年の例を少し挙げておきましたが、北翔大学の協力をいただいた情報モラルを考える勉強会やこども食堂、地域食堂についての勉強会をしたり、あるいは、そこに参加して調理室に入るといった場面も度々ありました。道民児連が主催する児童虐待防止講演会、これは石狩管内で、持ち回りで毎年研修会を実施しているので、そこに出席したりしております。次に、今年8月の予定で書いております、篠路ではなく拓北高等養護学校の誤りでしたので訂正をお願いしたいのですが、この訪問を9月25日に行うことを予定しております。その他、主任児童委員会部会が主体となって年間5回の企画委員会を行い、これらの日程や内容についてとりまとめをしております。どれを取りましても、私どもが主体で何かをするという役割ではなく、関係機関とともに私どもが目指す目的にかなう企画について

佐藤委員

て、参加や協力をさせていただくという取組が主体となります。もうひとつは受託事業なので主体的にやっていますが、江別市で行っているこんにちは赤ちゃん訪問事業として、毎年 700 名前後の赤ちゃんを生後 2 か月後に訪問しています。最初の赤ちゃんは、すでに小学校に入学しており、学校に訪問しても、そのお母さんとお話をする事ができるという状況になっております。それから、各単位民児協は市内に 9 か所、248 名おり、単位民児協でも独自に地域との関わりを持ちながら取組をしております。主なものとしては、学校単位でのコミュニティスクールへの参加、学校訪問と懇談、各種行事への協力と参加、地域遊びの広場、子育てサロンへの協力と参加、地域の子供まつりへの参加、協力など、それぞれ自治会との協力も多くあると思いますが、このような状況で、地域との関わりをこれからも固めていきたいと思っております。

西出会長

ありがとうございました。民生委員児童委員というお立場で、様々な取組を展開いただいているということでした。  
続きまして、野尻委員からお願いします。

野尻委員

日頃から、小中学校の活動に、関係機関の皆様には非常にご協力をいただいております。改めて感謝を申し上げますとともに、今回の情報交換シートを見ると、本当に改めて、色々な機関の皆様には学校に足を運んでいただき、色々な部分で子供達の健全育成にご協力いただいていることを改めて強く感じます。重ねて御礼申し上げます。校長会としては、教育委員会からの指示、助言をいただきながら、それぞれの学校で子供達の学力を高めたり、教育目標の実現に向けて取組を進めているところです。詳しいことは情報交換シートに書いておりますが、それ以外にいくつかお話しさせていただきたいと思っております。さきほどもありました熊の関係ですが、森林公園付近の学校の登下校時に、自治会や民生委員の皆様には子供達の安全確保にお力添えをいただきましてありがとうございます。校長会の中でも情報交換をして、隣の学校と違う対応を取ってはいけないので、連携を取りながら進めていたところがあります。それと、小学校では来年度から新学習指導要領ということで、中学校では 1 年遅れて導入されるのですが、その中で、地域と共にある学校づくりというのが柱の一つとなっております。学校、家庭、地域社会が連携を取り、それぞれの持っている役割をしっかりと確かめながら業務を進めていくことがとても大事だと考えております。この連携強化のひとつのツールとしてコミュニティスクール、略称CSということで、さきほど民児協の情報交換にも書かれていました。民生委員の方にも学校運営委員ということでかなり参画をしていただいておりますが、学校と地域を力強く結びつけるツールとしてコミュニティスクールというものがあり、これを通して、学校はこういう考えで教育活動を行っておりますということを知っていただいたり、逆に地域の皆さんの願いを学校教育の中に取り入れるという仕組みとして使っているところでもあります。それから、これからは更に一歩進めていって、小中連携一貫教育というのも江別では力を入れているところです。市長は、江別は教育のまちであるとして、教育の力で人口を増やしましょうというような話もしていますので、その期待に応えられるように校長会でもしっかりと進めていきたいと思っております。ちょっと気になるけど学校には言いにくいことがあるとかかもしれませんが、遠慮なく、そのときそのときに言っていただければ大変ありがたいと思っております。今後とも校長会としてもがんばっていききたいと思っておりますので、皆様のご協力、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

西出会長 熊の出没等に対する安全管理の視点からの様々な取組について、ご説明がありました。また、新学習指導要領では、社会に開かれた教育課程の実現や学校段階等間の接続など、新たな理念や考え方が明示されております。江別市の小・中学校では他市にはない、えべつ型コミュニティ・スクール等、特色あるすばらしい実践が行われております。また、小学校と中学校が連携し効果的な教育活動を展開すべく小中連携一貫教育を推進しているとのことのお話もいただきました。

それでは、続きまして、松下委員からお願いします。

松下委員 江別市PTA連合会では、北海道PTA連合会と連携しながら情報モラル教育の取組を進めるとともに、一昨年に作成した、えべつスマート4RULIESを実効的なものとするため、教育委員会と市内の25単位PTAと連携して推進しています。

西出会長 ありがとうございます。様々な取組が関係諸機関と連携を図りながら取り組まれているとのことでした。

続きまして、遠藤様からお願いします。

遠藤氏  
(原委員代理) まず、お願いしたいことがあります。現在、特殊詐欺がすごく流行っていて、子供を使う特殊詐欺グループが出てきているので、子供に、詐欺に加担しないということを教えていただきたいと思います。北海道内でも、苫小牧の中学生が受け子となって逮捕されたりとか、札幌の中学生が江別で逮捕されたり、江別の高校生が札幌市内で受け子となって逮捕されたということが実際にあります。このように詐欺グループが子供を使い始めているということが実際にあり、子供達もお金欲しさに犯罪に加担しているようですが、どういったネットワークで子供達が詐欺グループと繋がっているのかは分かりません。簡単にお金を稼ぐことができるようなことではないので、そういう話に乗らないように、加担させない取組ということで注意喚起をしてほしいと思います。また、子供とは関係ないのですが、江別市内では、7月以降、特殊詐欺の予兆電話が多くかかっています。7月には、30件近くかけられている日が続いたこともあり、北海道の江別、札幌地区が詐欺グループから狙われているということがあるのかもしれない。受け子は逮捕しましたが、7月には市内で特殊詐欺が発生しており、実際にキャッシュカードを渡してしまった人がいました。既に逮捕していますが、女性が江別警察署の警察官を名乗り、偽の身分証を見せて、キャッシュカードを盗むという事案が起きています。以前と違い、女性や子供を受け子に使う特殊詐欺が出てきているので、気を付けていただきたいと思います。

石山氏  
(古川委員代理) 子供を使った詐欺というのはどのようなものですか。

遠藤氏  
(原委員代理) 受け子です。子供に、どこに行ってお金やキャッシュカードを受け取って来いという指示をして、子供はそれを取ってきて、それを犯人グループに渡して報酬を得るというもので、受け子として使われている状態です。

西出会長 ありがとうございます。子供や女性が詐欺に直接かかわる特殊詐欺が発生しているとのことのお話でした。特に青少年の健全育成の視点から子供たちに対しては、様々な場面でご指導いただければと思います。

- 石山氏  
(古川委員代理) 今後、リストラされる方が増えると、例えば、そういう人が詐欺グループに加担するのではということをお心配しています。
- 遠藤氏  
(原委員代理) 有り得ると思います。今回、捕まえた女性は、詐欺グループには程遠いような普通の仕事をしている人で、反社会的なグループに関わっているような女性ではなく、どのようにして繋がっているのかは、これから明らかにしていきますが、おそらくインターネットで繋がるのだと思われます。こういったことから、リストラされた人などは、お金が無くなってくると、簡単にお金を稼ぐことができる犯罪と繋がってしまう可能性があるので注意しなければならないと思います。
- 西出会長 続きまして、高橋様からお願いします。
- 高橋氏  
(深津委員代理) 保健所では、自殺予防連絡会を行っており、若者の自殺予防をテーマに、高校、大学などの学校、教育委員会、若者支援機関、市町村、警察署、消防署、医療機関等に声かけし、研修や情報交換を実施しています。参加している学校の先生からは、今後、地域の相談機関に相談したいということも言われています。子供の居場所づくりや子供の居心地の良い生活を続けるための支援等、生きるための支援は、それぞれの機関で実施されているのですが、それが同時に自殺予防につながっているということが十分に共有できていない部分もあります。自殺予防というと、自殺を考えている人に自殺をさせないとか、自殺未遂した人にどう対処していくかというイメージになりがちだと思いますが、生きるための支援というのも自殺予防につながっているということを今後伝えていきたいと思っています。あとは、江別市で自殺対策計画を策定するということでしたので、必要に応じて、ワーキングチームへの出席などの支援をしてみたいと思います。
- 西出会長 ありがとうございます。昨今、新聞やテレビ等でも自殺防止に向けた様々な情報が提供されておりますが、若者の自殺予防に関する大切なお話をいただいたと思います。  
それでは、続きまして、岩淵様からお願いします。
- 岩淵氏  
(三上委員代理) 江別市では、8月1日から、妊娠、出産、子育ての総合相談窓口である子育て世代サポートえべつを開設しております。これは、安心して子供を産み育てることができるように妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を目的として開設したものです。新しく始めたことといたしましては、妊娠届出時に、全員と面談をして、悩みや不安がないかの情報を集め、その後、ずっとその方と関わっていくということを始めます。それから、産婦健診に対する費用の助成、今まで妊婦には助成がりましたが、産婦にはなかったもので、これを新しく始めるというものです。また、産後のお母さんのケアということで色々な相談事業を行っていきます。それから、地域あそびのひろばという事業を各地域で行っていますが、その中で、子育てや親子健康相談ということで、小児科医師や保育士を中心に相談を受けるということを始めていこうというものです。さきほど佐藤委員からもお話がありました、こんにちは赤ちゃん事業と新たな子育て世代サポートえべつと一緒に、総合的に実施していったら、子供の虐待をなくしていこうという発想ですので、今後ともよろしくお話ししたいと思います。8月1日から始まったばかりで、現在、公共施設等にポスターを掲示しておりますので、ご覧いただければと思います。
- 岩淵氏  
(三上委員代理)
- 西出会長 ありがとうございます。お母さんのケアを中心に、子育てに関する事業

西出会長

を展開しているというお話をいただきました。昨今、虐待が大きな問題として取り上げられておりますが、こんにちは赤ちゃん事業など、民生委員児童委員と連携を図りながら虐待防止に向けた取組を行っていききたいとお話でした。

それでは最後に、伊藤副会長からお願いします。

伊藤副会長

江別市青少年のための市民会議が、どういうところから立ち上がったかという、昭和50年代に、校内暴力などの青少年の非行が社会問題となったため、市民有志の方が、昭和55年に青少年健全育成のために立ち上げた団体です。今年で39年が過ぎているということです。情報交換シートに色々書いていますが、いじめや非行防止などを呼びかけるメッセージの募集というのは、さきほど布施係長から説明した資料2の17ページの標語募集です。これは、青少年健全育成標語募集ということで、去年は小学生、中学生、高校生以上の方、923名、1,337点の応募があった中から、小学生、中学生、高校生以上それぞれで最優秀賞、優秀賞等として9名を表彰しています。次に、青少年にとって有害な環境点検活動への協力として、コンビニ、カラオケボックス、レンタルビデオ店などへの立ち入り調査を行っております。次に、街頭での青少年健全育成にかかる啓発活動の実施は、11月に子供・若者育成支援強化月間というものがあり、この時期に街頭啓発ということで市民にグッズを配って啓発を行っているものです。昨年、イオン江別店、ホクレンショップ元江別店、ジョイフルエーケー大麻店の3か所で実施しました。次の青少年リーダー養成研修会や少年の主張石狩地区大会への参加奨励ですが、青少年リーダーは、去年は砂川市に派遣しております。少年の主張石狩地区大会は、小中学生の作文を発表するものであり、毎年、江別地区代表を選んでいきます。去年は、野幌中学校の生徒が江別市代表として選ばれて、今年の7月4日に石狩地区大会に出場し、最優秀賞を受賞しました。来月の9月5日には、札幌市内で全道大会があります。実は、去年も中央中学校の生徒が石狩地区大会で最優秀賞を受賞して全道大会へ行く予定だったのですが、全道大会が9月7日だったため、前日の地震により中止となり、書類審査で奨励賞となりました。青少年のボランティア活動や地域住民との交流活動への働きかけとしては、高砂町自治会で高砂町青少年活動隊として、小学生30名くらいが町内の花壇づくりやごみ拾いなどの活動をしているのですが、この活動を支援しています。次に、青少年によるボランティア活動や地域貢献などの善行の表彰については、青少年善行賞というものがあり、去年は、大麻西小学校の合唱団と江別太小学校の合唱団、大麻東中学校を表彰しました。取組内容としては最後になりますが、保護者を対象とした青少年健全育成講演会ですが、去年は野幌公民館で、教育支援課のスクールソーシャルワーカーに来ていただいて、講演をしていただきました。情報交換シートには、意見として次のとおり書きました。青少年を取り巻く環境は、年々複雑化するとともに、健全育成を阻む要因は潜在化し、大人の目が行き届かない状況にあると思います。このことから、地域・家庭・教育機関をはじめとする関係機関の連携を強化し、江別市における青少年健全育成方針の周知と実行に努めることが重要だと思われまます。以上、よろしくお願ひいたします。

西出会長

ありがとうございました。市民会議の歴史ある取組について、お話しいただきました。

委員の皆様から、情報交換ということでお話をいただきましたが、お話しいただいた内容について、質疑はありませんか。

全委員

<なし>

西出会長	それでは、次第7 その他ですが、各委員から何かありますか。
全委員	<なし>
西出会長	事務局から何かありますか。
伊藤主査	本協議会の次回の開催につきましては、今のところ未定ですが、必要に応じて開催することとしております。事務局からご案内をいたしますので、ご出席いただきますようよろしくお願いいたします。
西出会長	そのほか、各委員からございませんか。
全委員	<なし>
西出会長	それでは、以上で、令和元年度第1回江別市青少年健全育成協議会を閉会いたします。 本日は、貴重な情報交換等、ありがとうございました。